

〔下學集上〕蝙蝠シフ也。似鳥與虫之形。爲伎而欺人。故契經喻末世比丘。似僧非僧。似俗非俗。曰。蝙蝠比丘。

〔日本釋名中〕蝙蝠カホリ。蚊を欲する也。ほりするはこのむ也。欲の字をほりすると萬葉によめり。此物

蚊をこのみて食す。

〔東雅禽鳥〕蝙蝠カハホリ略。義不詳。カハホリとは猶蛇醫をキモリと云ひ。守宮をヤモリといふ也。ホリといひ。モリといふは。轉語なり。此物多くは河岸の石間。橋の下などに住むものなり。さればかく云ひしなり。或人の説に。蚊を欲りぬるをいふなり。といへり。如何にさる事もやあるべき。

〔南留別志五〕一蝙蝠をかほりといふは。圍もりなるべし。やもりるもりの類なるべし。

〔物類稱呼動物〕蝙蝠かふもりりといひ。いへにかはほり。畿内にて蚊くひ鳥とも云。近江にて蚊鳥とよぶ。

〔本朝食鑑五〕蝙蝠調加波保利。或原禽。曰加字毛利。

集解。伏翼。形似鼠。灰黑色。有薄肉翅。翅有四。足連尾。合如一。夏出冬蟄。晝伏夜飛。或黃昏群飛。食蚊蚋。自能生育。又嗜山椒。故兒童包椒于小紙。拋之。則伏翼隨之。而落。竟捕之。若誤噉。手指則難放。與椒則免。常棲人家。簷宇。塔下之隅。或棲巖洞。石窟者最大。而白者亦希。有然未。知爲其仙鼠也。

肉氣味鹹平。有毒。主治。瀉下。癰癧。金瘡。內潰之毒。或愈久。咳上氣。及小兒。魘病。驚風。

天鼠屎即夜明砂。源順曰。天鼠矢也。以水淘去。灰土惡氣。細砂。晒乾。焙末。惡白。飲白微。氣味辛寒。有毒。主治。目翳。盲障。五瘡。五淋。癰癧。癰腫。婦人

帶下。小鼠。魘病。疳毒。驚風。此皆厥陰肝經血分之病。而夜明砂。蝙蝠能活。血消積也。

〔重修本草綱目啓蒙三十二〕伏翼。カハホリ。和名。カフリ。カクヒドリ。カドリ。江州。一名簷

鼠史函。元老鼠。簷老鼠共同。飛翼藻林。倒折古今。倒掛南寧府志。飛蠅。皮翼共同。蠟

蠟康熙字典。蚪。蚪鼠本草。夜明沙一名千里光。精微。黑殺星異名。爛柴精類。聞

形。驥鼠ニ似テ薄キ肉翅アリ。肉翅ノ肩ニ鈎アリ。四足肉翅尾ニ連ル。口大ニシテ細齒上下ニ並ブ。

黃昏ヨリ群飛シテ蚊蚋ヲ食ヒ。晝ハ屋隙ニ入テ伏ス。秋後ハ飛鳴ス。夏月ハ鳴カズ。全身黑色。巖洞